

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～つながる 挑む 考動する～



河内小だより



三次市立河内小学校 令和7年9月号

2学期スタート！みんなで大きく成長しよう！

9月1日（月）河内小の2学期がスタートしました。今年の夏も猛暑に襲われましたが、子ども達は「なりたい自分に向かって自分みがきをしよう！」を合言葉に、自分が興味・関心のあることへの挑戦や研究、9月に実施される「陸上競技大会」に向けての自主練習、バンド活動、水泳等々、目標をもって頑張り、始業式の時に堂々と発表することができました。

2学期も様々な行事や学習があり、それぞれの子ども達のよさや力が発揮できる場面が数多くある学期です。一人一人の個性が輝く場面をたくさん仕組み、それを通して、さらに自分自身が大好きになり、「自分ってすごい。できるじゃん。」という自己肯定感を高めていって欲しいと願っています。

昨日の自分より今日の自分がより輝けるよう、そして2学期の終業式では自信をもって「どんな自分を目指して、どんなことを頑張ってきたか」を発表できるよう、一日一日を大切に過ごして欲しいと思っています。

教職員一同「愛情・情熱・誠意」をもって子ども達を支援してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



令和4年度よりスタートした「みよし学園 コミュニティ・スクール」の活動が、今年の2月下旬「文部科学大臣表彰受賞」に輝きました。これも地域の方々が、子ども達と一緒に協働学習や地域学習などに取り組んでくださったおかげです。ありがとうございました！！

戦後80年目：平和を願って・・・河内小の平和学習Ⅱ

今年も8月5日(火)は「河内地区慰霊祭」に、8月6日(水)は広島平和公園で開催された「広島平和祈念式」に参列しました。8月5日の朝、菊の摘みとりをして、それを束ねて献花用の菊の束を作り、それを持って参列しました。

今年は、原子爆弾が広島に投下されてちょうど80年目の節目の年です。戦争を体験した方々の高齢化により、二度と戦争を起こさないためにも、この戦争の怖さや悲惨さを後世に語り継いでいくことの大切さを考えさせられました。

8月5日(火)は全校で「河内地区慰霊祭」に参列した後、学校で「平和の集い」を開きました。その中で、今年は広島市から学童疎開を受け入れられた「西善寺」の小武住職さんに、実際に学童疎開をされていた方々に聞き取りをされて作成された記録を講談風にアレンジしたのを、聞かせていただきました。



菊を摘み取って、
献花用に束ねて
います。



「河内地区慰霊祭」に全校児童で参加し、平和菊を手向けました。

その後学校に帰り、「平和の集い」をしました。

西善寺の小武住職さんの学童疎開の話を皆、関心をもって聞き入っていました。

8月6日(水)、5、6年生5名で、平和公園に行き、「平和祈念式」に参列しました。毎年参列をしていますが、原子爆弾が投下された昭和20年から80年が過ぎた節目の年ということで、いつもより多くの方々が参列されていました。広島の人達だけでなく、全国から、そして外国からも参列されていました。

8時15分の黙とうの後、広島市長による「平和宣言」や子ども代表の「平和への誓い」「平和への歌」などを、テレビではなく、現地で見たり聞いたりすることは、とても心に響くものがありました。改めて、平和な世の中をつくっていくためにも、この原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さなどを、たくさんの人たちに知ってもらい、後世に語り継いでいくことが大切であることを感じました。



原爆慰霊碑に平和
菊を手向けました！
二度と戦争が起こ
りませんように…。
と願いをこめて…。



地域みなさんと共に作
った「千羽鶴のアート」は
「原爆の子の像」に手向け
ました。
みんなの平和への想いが
届きますように…。



「平和への想い～戦争のない世界の実現～」

小学生の部 優秀賞 5年 余平 樹

「今から 80 年前 あのときの悲惨さを私達は知っている

だからこそ 私達は次の世代に伝えていくべきだ」



余平樹君は、昨年度に引き続いての受賞でした！ おめでとうございます！

河内の特産を広めよう！～はぶ草茶栽培に挑戦しています～



中学年は、総合的な学習の時間で、河内地域の特産物である「はぶ草茶」について学習しています。実際に栽培しておられる農家さんの思いや願いを聞きながら、河内地域の「はぶ草茶」をもっと広めるために自分たちにできることを考えています。

昨年度は「はぶ草茶カフェ」を開いて、たくさんの方々に飲んでいただく取組をしましたが、本年度はその体験を生かして、自分たちではぶ草茶を育てて、それを使っていろいろな活動をしていこうと考えています。

9月3日は「河内地区はぶ草茶グループ」の皆さんにご指導いただきながら、自分たちで育てたはぶ草茶を刈り取り、茎から葉をとる作業や、茶葉をもんで乾燥する準備をしました。

子ども達はわくわくしながらも、田中さんの話をしっかりと聞きながら張り切って作業をしました。

さっそく学校に持ち帰り、茶葉を天日干しにして乾燥させています。おいしいお茶になりますように・・・。

はぶ草茶 暑い時には 最高だ 4年 升森 健太

～9月4日(木)中国新聞:文化ひろば 子ども俳句に掲載されました!～